

謹賀新年

みなさま、明けましておめでとうございます。新しい年になりました。新人2人も加えた新しい番付を作成しました。名付けて令和七年新春場所。

作成前にルールを決めました。これまで年長の新弟子が入ると枚数が増えることもありましたが、三役についてはそれを適用しないことにしました。

番付を見て気がつけば、新人はおふたりとも「誠一さん」でした。歌に向かって誠一筋、がんばりましょう。

なお、現時点では陸上待機の印は付けていません。できるだけ大勢での出帆を願っています。

今年の干支は巳です。巳年生まれが9人います。番付で言うと、関脇杉野関から前頭2枚目義太郎関までの9力士です。同じ年に生まれたのに番付はこんなに開いてしまいました。団塊の世代はつらいよ。ちなみに干支別の人数は次の通りです。子 11 丑 4 寅 2 卯 6 辰 2 巳 9 午 4 未 1 申 2 酉 6 戌 2 亥 5。

大町・一義杯麻雀大会のご報告

2024年最後の麻雀大会が、12月28日(土)に開催されました。丸山一義さんが復活させてから通算20回目、大町・一義杯のトロフィー授与となってから9回目になります。

既に最多3度の優勝リボンを手に入れている中村雀士は30分前に到着、ママさんにお土産「億万両」を持参する余裕ぶり。遅れて鈴木純雀士15分前到着、山路も10分前に到着しましたが、キャプテンの気配がない。LINE を打っても既読にならない。小次郎3人が焦っているところ、時間ピッタリに、武蔵ではなく大久保キャプテン登場。

ルールの確認をし、6時からの反省会(年末なので店は先に予約)のため 5:45 打ち切りも確認して第1試合が開幕。<ここより敬称略>序盤は小さな上がりで静かに流れてゆく。アンダンテだな。東3局で山路がリーチ、安目が出れば 1300 点のところ、高目自摸で一通 7700 点。ほぼ満貫なので満貫ビールをいただく。キモチ良くなりすぎて、その後は判断ミスが続く、みなには気付かれないが。その後一進一退が続くが、南2局

で今年3勝の絶対王者中村が撥満で抜け出す。その後山路も撥満を取り返すが出処悪く、中村が逃げ切った。

第2試合 東2局でついにキャプテンが目覚めた。面断平(メンタンピン)ドラ1でほぼ満貫。東4局、鈴木が2本積んでたのが流れて南場になる。中村の親でいきなり3本場、そし

て4本場になった。さあ困った、ここで阻止しないと、またトップを持って行かれる。何とか、軽いので流した。そして南2局、3人がリーチを掛けたので、中村が牌を開く。中村は安全牌で回し、3人の自摸切りが続き、流局。その次、鈴木リーチに大久保追っかけ。あとでわかったが鈴木、飲んでないのに当たりの5筒を見逃すという失策、キャプテンが自摸上がりして、トップ獲得。おめでとうございます。

第3試合開始のサイレンは5時15分。試合時間は30分少々であることを確認して開始、先行逃切馬は誰だ。わっはっは、オレノシゴト(B2 だもんね)。山路が満貫を上がり、その後も点棒を集める。十分に逃げ切れる状況の中、5:45 をすぎる。誰も上がる気配がない。このまま流局でおしまいと思いきや、中村ハイテイの三萬に山路が「それ、当たり」。鳴き清一色、タンヤオドラドラにハイテイが付いて親倍満。

トップは3人別々だったが、最後の fff が効いて、山路がトロフィーを手にするようになりました。どうもありがとうございました。しばらくは宝くじを買わないことにします。

第9回(通算第20回)大町・一義杯結果

	中村	山路	大久保	鈴木純
1	23	2	-12	-13
2	-11	-9	18	2
3	-31	51	-17	-3
合計	-19	44	-11	-14



反省会は、下の四川麻辣火鍋「天府」。海産物に野菜に肉三種盛り。食べる前に撮り忘れたので、スープしかないが、この色、いやー辛かった。 <以上山路でした。>

